

安全衛生管理の取り組み

安全衛生基本方針

当社は2001年4月に「安全衛生基本方針」と「安全衛生行動計画」を策定いたしました。

この安全衛生基本方針のなかで、社員一人ひとりが健康で安全に働くことができる職場環境をつくることを、経営上の最重要課題として位置づけ、事業活動のあらゆる面で安全を確保することを理念として掲げております。

安全衛生基本方針

【理念】

三井金属グループで働くすべての人々の安全と健康の確保が、事業活動を行う上で最も重要であるとの認識のもと、安全で働きやすい職場環境を作り上げる。

【方針】

1. 安全衛生法規等を遵守するとともに、必要な自主基準を設け、安全衛生管理レベルの向上に努める。
2. 安全衛生活動を推進するため、三井金属グループの各所社において、組織および体制の整備をはかる。
3. 事業活動のすべての領域における危険または有害要因を特定・評価し、その除去または低減に努める。
4. 安全衛生の向上に関する新たな手法、技術の導入に努める。
5. 安全と健康の確保は、良好なコミュニケーションのもとに実現されるとの認識に立ち、三井金属グループで働くすべての人々との意思疎通をはかる。
6. 定期的な監査を実施し、安全衛生管理システムの継続的な改善をはかる。
7. 三井金属グループで働くすべての人々に対し、安全衛生に関する教育・啓蒙等を通じて、安全と健康の確保の重要性を認識させ、意識の向上をはかる。

この基本方針は、三井金属グループの全世界の各所社に適用する。

2003年6月27日
三井金属 社長 横原 紘

労働安全衛生関連法研修会

労働安全衛生法令順守を推進するため、平成16年から全社を対象に労働安全衛生関連法の研修会を開催しております。

三井金属グループ各所社に適用される関係法令や安全配慮義務の他に、石綿障害予防規則など、最新の安全衛生法関係についても理解を深めております。



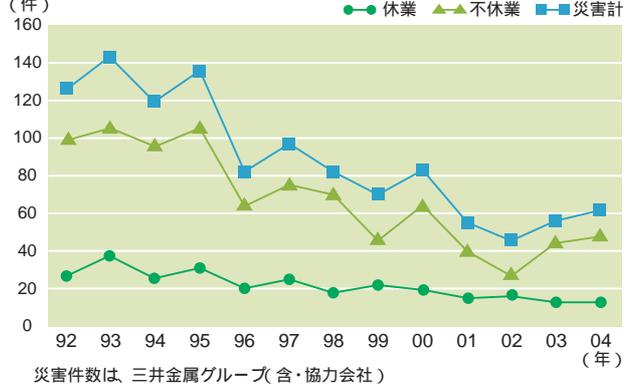
労働安全衛生関連法研修会で活発に質疑応答する参加者

安全成績

全社の災害件数は、1993年をピークに年々減少傾向にあります。過去2年間は連続して増加し、昨年は全体件数が61件となりました。

昨年は「挟まれ・巻込まれ」災害が最も多く発生し、また「激突」「火傷・薬傷」「転倒」災害が増加し、全体の7割を占めました。このうち「もう少し気を付けていれば防げた災害は徐々に増え、昨年は半数を超えました。

全社災害件数推移



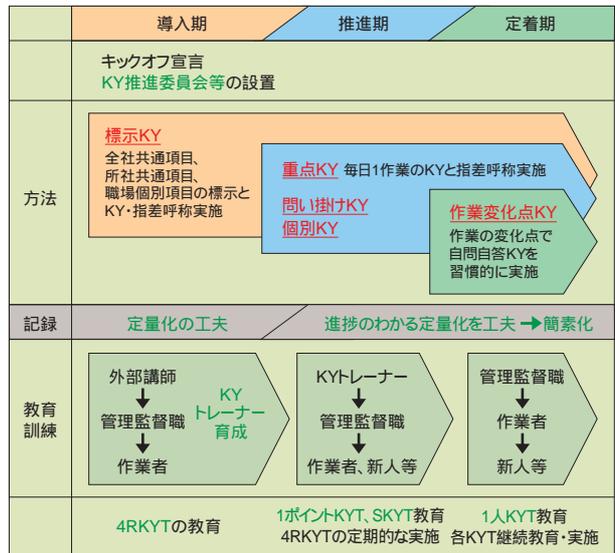
安全の取り組み

上記の結果を反省し、「もう少し気を付けていれば」防げた災害を減らすべく、今年度より危険予知(KY)活動を三井金属グループ全体で取り入れて実践し定着を図ることといたしました。安全最優先、安全先取りにて下記の取り組みを実施し、安全面でも優良企業(災害ゼロ)を目指しております。

[主な取り組み]

- KY実践と定着
 - 現在の取り組み状況に応じたKY活動の推進
 - 標示KY、重点KY、問い掛けKY、個別KY、作業変化点KYの実施
- 労働安全衛生マネジメントシステムの構築
リスクアセスメントによる安全先取り活動の導入
- 全社的安全衛生教育・研修の実施
階層別集合研修、職場実践教育
- 安全巡視・監査の拡充
法規制の順守と基本方針の実現
- 安全基本ルールの周知・実践
- 三井金属グループ「安全の日」行事の実施

KY推進の概要



労働安全衛生マネジメントシステム

当社では、OHSAS18001労働安全衛生マネジメントシステムを「安全で働きやすい職場環境」を作り上げる仕組みとして、安全衛生行動計画に織り込み、2006年度末までに三井金属グループの全所社で構築することを目指しております。

なお、これまでに4所社が認証取得をしており、現在14所社が構築に向けて取り組みを行っております。

OHSAS18001構築スケジュール

